

教職員をめざす障がいのある方々へ

所属職・氏名	北海道室蘭聾学校 教諭 山上 陽
採用年度 障がいの種別	令和4年度採用 聴覚障がい

■ 教員の志望理由

高校のときにお世話になった先生への尊敬と憧れから、教員になることを考えるようになりました。本格的に意識するようになったのは、大学の時にボランティアで障がい児の施設に行ってからです。子どもたちと触れ合うことで共に学ぶことの楽しさ、成長を間近で見られる喜びを感じ、教員を志望するようになりました。

■ 印象に残っている教育活動・仕事など

子どもたちが何か壁に突き当たった時に寄り添い、力になれる部分があればサポートをしています。サポートし続けたある日、子どもたちが壁を乗り越えた時のやり切った表情や嬉しい表情を見ると、自分までも嬉しい気持ちになります。

また、日々の授業をとおして実態に応じた教材準備を行うこと。さらに、主体性を引き出す授業づくりに取り組むことが子どもたちの深い学びにつながると授業準備の大切さを改めて感じました。

■ 教員としてのやりがい

聴覚障がいとはいえ、様々な実態がある子がいます。しかし、同じ障がいを持つ自身だからこそ、少しでも気持ちに寄り添えたらという思いを持って生徒に関わっています。何かに真剣に取り組む姿や楽しんでいる姿など、様々な子どもたちの姿を見るたびに元気をもらっています。

また、子どもたちの可能性を引き出すことにやりがいを感じています。いつも自分の思うようにうまくいかない時が多いのですが、その度に、周りの先生からご指導やご助言を頂いており、学びのある毎日です。



■ 今後、教職員をめざす障がいのある方々へ

教員になるまでは、こんな僕でいいのかなという不安もありました。しかし、現在は、子どもたちと学ぶことの楽しさもありますが、なにより子どもたちが「分かった!」「そういうことか!」と目を輝かせている姿を見るのが自身のやりがいであり、教員生活に充実感を味わっています。

障がいがあるからこそ子どもたちとともに考えられることもあると思っています。子どもたちの成長する姿を考え、真正面に向き合い、その時その時に必要な力となれるよう取り組みたいと思っています。障がいの有無を考えるより、教員を目指す思いを大切にしてほしいと思っています。